

単元名 2 多様な視点から 一魅力的な提案をしよう

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 相手が自ら動きたいと思えるような言葉や表現を用いてプレゼンテーションをすることができる。
- (2) アピールしたい点が効果的に伝わるように話の構成を工夫することができる。
- プレゼンテーションソフトやフリップを用いて、提案内容が視覚的にも分かりやすくなるよう工夫することができる。
- (3) 粘り強く自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとする。

標準的な展開例

11210110_001

【準備等】知多の友

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 提案内容を決めて、情報を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「プレゼンテーション」(p. 54)を読み、プレゼンテーションについて知る。 ○プレゼンテーションのテーマを知る。 ○本時の学習課題をつかむ。 <p>★どんな相手に、何のためにプレゼンテーションをするか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グループに分かれ、紹介する内容、相手、目的を話し合う。 ○聞き手が必要としていることは何かを考え、発表に必要な材料を考える。 <p>○次時は、資料を持ち寄って、プレゼンテーションの内容を決めることを知る。</p> <p>2 効果的な話の構成を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 <p>★発表の材料を整理して、構成メモを作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発表で最も伝えたいことを決定する。 ○材料を整理して、構成メモを作る。 <ul style="list-style-type: none"> ①はじめに（キャッチフレーズ） ②概要 ③まとめとアピール ○次時は、構成メモをもとに進行案、提示資料、発表原稿を作ることを知る。 <p>3 効果的な話の構成を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時を振り返り、本時の学習課題をつかむ。 <p>★提示資料と発表原稿を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○構成メモを基に、進行案を作る。 ○進行案に従って、提示資料を作る。 ○発表原稿を作る。 ○グループ内で練習し、互いに聞き合って手直しをする。 ○次時はプレゼンテーションをすることを知る。 <p>4 プレゼンテーションをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時を振り返り、本時の学習課題をつかむ。 <p>★プレゼンテーションをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○発表順を決め、グループごとにプレゼンテーションをする。 ○プレゼンテーションを評価しながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手が知りたいことを想定することが大切であることに気付かせる。 ・テーマは教科書にある、「おすすめ散策コース」もしくは「テーマの例」(p. 54)を参考にする。 ・調べる時間はどれくらいあるのか、発表する日はいつかをあらかじめ生徒に伝え、見通しをもたせる。 ・提案する相手や目的をグループで話し合い、「知多の友」に記入させる。 ・集められそうな発表の材料を話し合い、「知多の友」に記入させる。 <p>【評】発表に必要な材料を考える活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集する資料について、グループで分担させるとよい。 ・第2時と第3時で、提示資料の作成とグループ内での練習までを終わらせることを伝え、見通しをもって学習に取り組ませる。 ・グループで集めた発表の材料を見合い、最も伝えたい内容を話し合っ「知多の友」に記入させる。 ・最も伝えたいことが明確になるような構成を考え、「知多の友」の構成メモにまとめる。 <p>【評】構成メモを作る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような提示資料が必要かを話し合い、次時に必要な準備を確認させる。 ・「進行案の例」(p. 56)を参考にして、「知多の友」の進行案を作り、その後に提示資料と発表原稿を作ることを確認する。 ・「知多の友」に、資料の絵コンテ、発表分担説明内容の要点、時間を話し合い、記入させる。 <p>【評】進行案を作る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料は文字での説明をできるだけ少なくし、見出しや箇条書きのポイントの言葉にとどめさせる。 ・「知多の友」の「説明内容」の欄に要点をまとめさせる。発表当日には何も見ないで話すように指導する。 <p>【評】プレゼンテーションをする活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手には、話の構成や話し方に注意させ、質問を考えながら聞くようにさせる。

<p>○質疑応答をする。</p> <p>○次時は学習の振り返りを知ることを知る。</p> <p>5 プレゼンテーションを振り返り、よかった点や改善点を考える。</p> <p>○前時を振り返り、本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★プレゼンテーションを振り返ろう。</p> <p>○互いのプレゼンテーションのよかった点を伝え合う。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>【評】互いを評価する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問は、発表グループが決めた提案の相手からの立場でさせたい。 ・「聞き手を意識した発表内容か」「資料や機器などを効果的に活用していたか」という2点に注意して聞くことを確認する。 ・話し方や話の構成、資料や機器の使い方など振り返りの観点を明確にするとよい。 <p>【評】互いを評価する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知多の友」に記入させる。 ・「つなぐ」(p. 55)を読み、学んだことを今後どのように生かしていきたいかを考えさせるとよい。
---	--

【 備 考 】

この単元では、第1学年での学習を踏まえ、文章の構成や展開のしかた、事実と意見の示し方に注意しながら、説明の工夫に気付き、書き手の意図や主張を理解することを目的としている。また、自分の提案が、相手に興味・関心をもたれるには、どのような工夫をすればよいのかを考えさせる。説明文の工夫の読み取りとも関連づけながら、プレゼンテーションに必要な材料の集め方、資料や機器などの効果的な使い方を考えさせたい。

知多の友を使用する。